

予防計画の進捗状況について(令和6年度の主な取り組み)

資料 2

※金額はR6県当初予算

感染症の発生の予防・まん延防止のための施策	感染症に係る医療を提供する体制等の確保	感染症の予防に関する人材の養成及び資質の向上
<p>1.R6感染症対策連携協議会 82万円</p> <p>R6.8 第1回連携協議会 R6.11～12 行動計画(素案)意見照会 R7.3 第2回連携協議会(書面開催)</p> <p>2.感染対策支援専門家派遣事業 150万円</p> <p>社会福祉施設や医療機関等に対し、感染管理認定看護師等によるサウト・助言、研修・出前講座研修・出前講座は医療関連サービス事業者も対象</p> <p>3.新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し</p> <p>新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改正を踏まえ、県の行動計画を見直し</p> <p>4.新型インフルエンザ等対策訓練 144万円</p> <p>R6.11.8 市立砺波総合病院 新型インフルエンザ疑い患者を病院に救急車搬送、発熱外来受診、感染症病棟へ搬入。PPE着脱訓練</p>  <p><医療機関> 県立中央病院、県都市民病院、富山市民病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院</p> <p><行政> 高山市、富山市 予防計画 厚生センター 富山市保健所 健康危機対応計画(部会) 感染症研究所 新井校校舎富山空港出張所</p> <p><関係団体> 県公的病院長協議会、県医師会、県看護協会、県薬剤師会、県歯科医師会、県医師会結業協同組合、県消防協会、全日本病院協会富山県支部</p>	<p>1.第一種感染症病床整備支援事業 1億2,620万円</p> <p>第一種感染症病床の強化及び複数拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立中央病院 2床→3床 ・富山大学附属病院 1床新設 <p>2.医療措置協定の締結など</p> <p>医療機関、薬局、訪問看護事業所との医療措置協定、民間検査機関、民間宿泊業者との協定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床確保、発熱外来は目標数に到達 ・訪問診療・訪問看護等は9割に到達 ・訪問服薬指導は目標数に到達 ・検査、宿泊施設の確保は目標数に到達 <p>3.協定締結医療機関に対する施設・設備支援</p> <p>(1)新興感染症対応力強化事業 1億3,662万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 17件 病室の感染対策(陰圧装置)、多床室の個室化、個人防護具保管庫 ・設備整備 53件 簡易陰圧装置、PCR検査装置、簡易ベッド、HEPAフィルター付き空気清浄機 <p>(2)新型インフルエンザ等感染症患者受入医療機関における施設・設備整備 985万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来整備 1件 	<p>1.富山県地域医療再生修学資金貸与事業 (医務課) 1,314万円</p> <p>富山県の公的病院等の医師を目指す医学生に修学資金を貸与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期コース 17名に貸与 ・後期コース 3名に貸与 <p>2.看護職員育成研修支援事業 (医務課) 900万円</p> <p>専門性の高い看護師を確保するため、認定看護師教育課程や特定行為研修へ看護師を派遣する病院に受講料を補助</p> <p>12病院に補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔 認定看護師 10名(うち感染管理2名) 〕 〔 特定行為研修 33名 〕 <p>3.院内感染地域支援ネットワーク事業 (医務課) 209万円</p> <p>医療機関において感染対策専門員の養成や院内感染対策に精通する外部専門家による助言・実施指導を行うほか、院内感染に係る相談窓口を設置し、発生時に対応にあたる</p> <p>4.IHEAT要員人材育成事業 68万円</p> <p>健康危機発生時に厚生センター・保健所の業務を支援するIHEAT要員に対し研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者：R6.3 11人 →R7.2 46人 ・R6：eラーニング、10/21伝達訓練、11/8新型インフルエンザ等対策訓練見学